

令和 7（2025）年度 事業報告書





I・法人の概要

1. 建学の精神	2
2. 学校法人の沿革	3
3. 設置する学校・学部・学科等	6
4. 学校・学部・学科等の学生・生徒数の状況	8
5. 役員（理事・監事）の概要	9
6. 評議員の概要	10
7. 学校長	11
8. 教職員の概要	11
9. 組織図	12

II・事業の概要

1. 第4次中期計画	13
2. 主な事業まとめ	14
3. 福井工業大学	15
4. 福井工業大学附属福井高等学校・福井中学校	21
5. 福井県医療福祉専門学校・L'ecole des gourmands Fukui	23
6. 法人本部	25
7. 施設等の状況	27

III・財務の概要

1. 決算の概要	
1-1. 資金収支計算書	28
1-2. 事業活動収支計算書	29
1-3. 貸借対照表	30
2. 主な財務比率比較	
2-1. 主な財務比率比較	31
3. その他	
3-1. 有価証券の状況	32
3-2. 借入金の状況	32
3-3. 学校債の状況	32
3-4. 寄付金の状況	33
3-5. 補助金の状況	33
3-6. 収益事業の状況	34
3-7. 関連事業者との取引の状況	34
4. 来年度以降の展望	34



1. 建学の精神

金井 学園 建学の精神

悠久なる日本民族の歴史と伝統とに
根ざした愛国心を^{つちか}培い、節義を重んずる
人格の育成、科学技術の^{けんさん}研鑽に努め、
以て人類社会の福祉に貢献する。



2. 学校法人の沿革 (令和7年5月1日現在)

昭和 25 年 4 月	福井市豊島上町 93 番地に中学校卒業を入学資格とする (2 年制) と専科 (夜間 1 年制) を有する北陸電気専門学校を創設
27 年 4 月	本校を 3 年制とし、高校教科書による単位修得に改める
27 年 11 月	生徒数の増加及び実験室等の整備のため福井市明里町 29 番地に移転
33 年 4 月	建設科を増科
34 年 2 月	学校法人金井学園創立認可
34 年 4 月	福井実業高等学校として発足 学校教育法に規定する工業課程の高等学校として電気科・建設科を置く
34 年 11 月	福井市東明里町 20 番地に校舎新築移転
35 年 4 月	福井実業高等学校に生活科学科(女子)増科
36 年 4 月	福井実業高等学校に電気通信科増科
36 年 11 月	福井実業高等学校同科廃止
37 年 4 月	福井実業高等学校に電子科・機械科増科
37 年 12 月	福井短期大学設置認可
38 年 4 月	福井短期大学(電気科)開学
39 年 4 月	福井短期大学に機械・家政科増科 教職課程設置
40 年 2 月	福井工業大学設置認可
40 年 4 月	福井工業大学(電気工学科・機械工学科)開学
40 年 4 月	福井短期大学家政科を独立して、福井女子短期大学と改称
40 年 4 月	福井実業高等学校の生活学科を普通科(女子)と改称
40 年 10 月	福井実業高等学校を福井高等学校と改称
41 年 4 月	福井工業大学に建設工学科増科 教職課程設置
41 年 4 月	福井女子短期大学家政科を家政・食物栄養に専攻分離
41 年 4 月	福井高等学校に普通科(男子)増科
42 年 4 月	福井高等学校にデザイン科を増科 電子科を電気科に統合 建築科と改称し、建築・土木の 2 コースとする
43 年 4 月	福井高等学校に衛生看護科増科
44 年 4 月	福井高等学校に自動車整備科増科 電気科にテレビコース開設
45 年 4 月	福井女子短期大学の家政専攻を家政経済専攻と改称
47 年 4 月	福井高等学校に航空機整備科を増科
48 年 4 月	福井工業大学に応用物理学科増科
52 年 8 月	福井女子短期大学廃止
53 年 2 月	福井高等学校を福井工業大学附属福井高等学校と改称



54 年 4 月	福井工業大学応用物理学科の改称を環境安全工学科に変更
55 年 4 月	フクイモダンデザイン専修学校設置
58 年 4 月	福井工業大学機械工学科を機械工学専攻・電子工学専攻に専攻分離
60 年 4 月	福井工業大学に大学院（工学研究科）設置
61 年 4 月	福井工業大工学部期間を付した定員増(平成 11 年迄)
62 年 4 月	福井工業大学に経営工学科設置
63 年 4 月	福井工業大学附属福井高等学校に商業情報科設置
平成 元年 4 月	福井工業大学附属福井中学校設置
元年 4 月	別科（工学専修科）に土木工学専攻・化学計測専攻・経営情報学専攻を開設
元年 4 月	福井工業大学工学研究科博士課程開設
4 年 4 月	福井産業デザイン専修学校の高等課程を廃止し、商経専門課程を設置
7 年 12 月	福井工業大学に編入学制実施
10 年 4 月	福井工業大学附属福井高等学校に衛生看護専攻科を設置
13 年 4 月	福井工業大学に宇宙通信工学科設置
14 年 4 月	福井工業大学電気工学科を電気電子工学科に名称変更
15 年 4 月	福井産業デザイン専修学校を廃止
15 年 7 月	収益事業の認可
16 年 4 月	福井工業大学経営工学科を経営情報工学科へ名称変更
16 年 4 月	福井工業大学附属福井高等学校に工業科、情報科を設置
17 年 4 月	福井工業大学に原子力技術応用工学科を設置
21 年 4 月	福井工業大学にデザイン学科を設置
22 年 4 月	福井工業大学附属福井高等学校に特別進学科・進学科を設置
23 年 4 月	福井工業大学に産業ビジネス学科を設置
24 年 4 月	福井工業大学建築生活環境学科を設置
27 年 4 月	福井工業大学にスポーツ健康科学部スポーツ健康科学科を設置
27 年 4 月	福井工業大学に環境情報学部環境・食品科学科、同経営情報学科、及び同デザイン学科を設置
27 年 4 月	福井工業大学工学部電気電子情報工学科を電気電子工学科へ、また同建築生活環境学科を建築土木工学科へ名称変更
30 年 4 月	収益事業（若狭町みさき漁村体験施設の指定管理者としての請負業）の認可
令和 2 年 4 月	福井工業大学環境情報学部環境・食品科学科を環境食品応用化学科へ名称変更
3 年 4 月	学校法人新和学園（福井県医福祉専門学校、福井製菓専門学校、福井公務員専門学校）と法人合併



4 年 4 月	福井県医療福祉専門学校に文化教養専門課程日本語学科を設置
4 年 4 月	福井公務員専門学校を廃校
5 年 4 月	福井工業大学学部学科再編(4 学部 8 学科)
5 年 4 月	福井工業大学に経営情報学部経営情報学科設置
5 年 4 月	福井工業大学環境情報学部を環境学部へ名称変更
5 年 4 月	福井工業大学工学部電気電子工学科を電気電子情報工学科へ名称変更
5 年 4 月	福井工業大学環境情報学部経営情報学科学生募集停止
7 年 4 月	福井県医療福祉専門学校こども・介護学科学生募集停止
7 年 4 月	福井県医療福祉専門学校こども・介護学科を介護福祉学科へ名称変更
7 年 4 月	福井製菓専門学校を L'ecole des gourmands Fukui へ名称変更



3. 設置する学校・学部・学科等 (令和7年5月1日現在)



福井工業大学

Fukui University of Technology

- 工学部
 - ・電気電子情報工学科 ・機械工学科
 - ・建築土木工学科 ・原子力技術応用工学科
- 環境学部
 - ・環境食品応用化学科 ・デザイン学科
- 経営情報学部
 - ・経営情報学科
- スポーツ健康科学部
 - ・スポーツ健康科学科
- 大学院
 - ・応用理工学専攻（博士前期）
 - ・社会システム学専攻（博士前期）
 - ・応用理工学専攻（博士後期）
 - ・社会システム学専攻（博士後期）



福井キャンパス



あわらキャンパス



福井工業大学附属 福井高等学校

Fukui Senior High School

- 特別進学科
- 進学科
- 衛生看護科
- 衛生看護専攻科



福井工業大学附属 福井中学校

Fukui Junior High School





 福井県医療福祉専門学校
Fukui Medical Welfare College

- 介護福祉学科
- 医療事務学科
- 日本語学科



 L'ecole des gourmands Fukui
レコール デ グルマン フクイ

- 製菓衛生師科





4. 学校・学部・学科等の学生・生徒数の状況

4-1. 福井工業大学・大学院（令和7年5月1日現在）

（単位：人）

学部	学科	入学定員数	入学者数	現員数	摘要
工学部	電気電子情報工学科	80	74	296	
	機械工学科	70	46	227	
	原子力技術応用工学科	20	9	56	
	建築土木工学科	70	93	322	
計		240	222	901	
環境学部	デザイン学科	50	48	180	
	環境食品応用化学科	30	27	88	
	経営情報学科	-	-	107	旧 環境情報学部
計		80	75	375	
経営情報学部	経営情報学科	100	122	329	
計		100	122	329	
スポーツ健康科学部	スポーツ健康科学科	80	91	321	
計		80	91	321	
合計		500	510	1,926	
工学研究科(博士課程前期)	応用理工学専攻	17	13	24	
	社会システム学専攻	8	6	13	
	計	25	19	37	
工学研究科(博士課程後期)	応用理工学専攻	4	2	3	
	社会システム学専攻	2	1	12	
	計	6	3	15	
合計		31	22	52	

4-2. 福井工業大学附属福井高等学校・衛生看護専攻科（令和7年5月1日現在）

課程	学科	入学定員数	入学者数	現員数	摘要
全日制課程	特別進学科	140	117	362	
	進学科	280	337	1,014	
	衛生看護科	30	24	82	
合計		450	478	1,458	
衛生看護専攻科		40	39	72	
合計		40	39	72	

4-3. 福井工業大学附属福井中学校（令和7年5月1日現在）

課程	入学定員数	入学者数	現員数	摘要
全日制課程	80	55	189	
合計	80	55	189	

4-4. 福井県医療福祉専門学校（令和7年5月1日現在）

課程	入学定員数	入学者数	現員数	摘要
社会福祉専門課程	100	45	65	
商業実務専門課程	40	11	11	
文化教養専門課程	40	18	23	
合計	180	74	99	

4-5. L' ecole des gourmands Fukui（令和7年5月1日現在）

課程	入学定員数	入学者数	現員数	摘要
衛生専門課程	20	19	31	
合計	20	19	31	

4-6. 学生・生徒総計（令和7年5月1日現在）

	入学定員数	入学者数	現員数
学生・生徒総数	1,301	1,197	3,827



5. 役員(理事・監事)の概要 (令和8年3月31日現在)

定員数 理事8名 監事2名

役職名	氏名	現職	常勤 非常勤	選任条項	摘要
理事	掛下 知行	福井工業大学 学長	常	寄附行為第八条 第一項第一号	平成30年4月理事就任 平成30年4月学長就任
理事	佐々木 栄秀	附属福井高等学校 校長	常	寄附行為第八条 第一項第一号	平成31年4月理事就任 令和2年4月附属高校校長就任
理事	金井 兼	理事長	常	寄附行為第八条 第一項第二号	平成4年12月理事就任 平成4年12月理事長就任
理事	松浦 悦郎	常務理事	常	寄附行為第八条 第一項第二号	平成25年4月理事就任 平成27年4月常務理事就任
理事	道内 由佳里	常務理事	常	寄附行為第八条 第一項第二号	平成28年4月理事就任 令和6年4月常務理事就任
理事	金井 兼信	法人本部 経営企画部長	常	寄附行為第八条 第一項第二号	令和6年6月理事就任 令和6年2月経営企画部長就任
理事	井上 毅	弁護士	非	寄附行為第八条 第一項第二号	平成25年7月理事就任
理事	渡辺 雅之	税理士	非	寄附行為第八条 第一項第二号	令和2年4月理事就任
監事	吉田 五衛	無職	非	寄附行為第二三条	令和2年4月監事就任
監事	野村 孟弘	公認会計士	非	寄附行為第二三条	令和2年4月監事就任



6. 評議員の概要 (令和8年3月31日現在)

定員数 10名

役職名	氏名	現職	選任条項	上段:就任年月日 下段:重任年月日
評議員(学内)	池田 岳史	福井工業大学 副学長	寄附行為第三二条 第一項第一号	平成31年4月1日 令和7年6月4日
評議員(学内)	藤井 貴広	附属福井高等学校 教頭	寄附行為第三二条 第一項第一号	令和2年4月1日 令和7年6月4日
評議員(学内)	宮本 由佳子	法人本部 総務部長	寄附行為第三二条 第一項第一号	平成30年4月1日 令和7年6月4日
評議員(学外)	黒川 二二夫	黒川建築設計室 代表	寄附行為第三二条 第一項第二号	令和4年1月24日 令和7年6月4日
評議員(学外)	木村 洋子	社会福祉法人 坂井福祉会 理事長	寄附行為第三二条 第一項第三号	令和4年8月8日 令和7年6月4日
評議員(学外)	坪川 哲也	(株)大和印刷所 代表取締役社長	寄附行為第三二条 第一項第三号	令和4年8月8日 令和7年6月4日
評議員(学外)	杉山 聡理	藤島幼稚園 園長	寄附行為第三二条 第一項第三号	令和5年7月19日 令和7年6月4日
評議員(学外)	高橋 正恭	(株)C&B 代表取締役	寄附行為第三二条 第一項第三号	平成27年4月1日 令和7年6月4日
評議員(学外)	山本 晃司	AOIホールディングス(株) 代表取締役社長	寄附行為第三二条 第一項第三号	令和7年6月4日
評議員(学外)	森 友香	コサカ(株) 店長兼本社経理	寄附行為第三二条 第一項第三号	令和7年6月4日



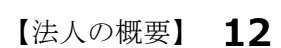
7. 学校長 (令和 8 年 3 月 31 日現在)

学校名	役職名	氏名
福井工業大学	学長	掛下 知行
福井工業大学附属福井高等学校	校長	佐々木 栄秀
福井工業大学附属福井中学校	校長	市村 直哉
福井県医療福祉専門学校 L'ecole des gourmands Fukui	校長	栗原 美幸

8. 教職員の概要 (令和 7 年 5 月 1 日現在)

(単位：人)

	教員		職員	
	本務	兼務	本務	兼務
法人本部			9	9
福井工業大学	98	75	70	6
福井工業大学附属福井高等学校	76	116	21	6
福井工業大学附属福井中学校	17	14	4	0
福井県医療福祉専門学校	14	44	6	0
L'ecole des gourmands Fukui	4	19	0	1
合計	209	268	110	22





1. 第4次中期計画

第4次中期計画（2024年度～2028年度）

「つながる力で人を育てる」を中期ビジョンとして掲げ実行します。

なお、第4次中期計画は「つながり」を強化するためにも、【戦略分野】を全部門共通としました。戦略分野、各学校の行動目標は、次のとおりです。

中期ビジョン・戦略分野

「つながる力で人を育てる」

基本理念「すべてを学生・生徒のために」に基づき、
つながることで組織の総合力を発揮して人を育てます。

つながることで相乗効果を発揮する

連携活動の強化

教育・研究で深い学びにつなげる

教育力・研究力の向上

未来につながる環境を創る

環境・体制の創出

オンライン
金井学園の魅力を社会につなげる

ブランドの確立

行動目標

戦略分野	行動目標			
	大学	中高	専門学校	本部
連携活動の強化	1. 中高大連携の強化(学園内連携の強化) 2. 地域との連携強化 3. 海外との連携強化 4. 同窓会との連携	1. 金井学園内連携の強化 2. 地域社会連携活動の強化 3. 海外との連携強化 4. 同窓会組織との連携強化	1. 中高大専門連携の強化 2. 地域との連携強化 3. 海外との連携強化 4. 同窓会との連携強化	1. 学園内連携の強化 2. 海外との連携強化
教育力・研究力の向上	1. 教育の質の向上 2. 学部生、院生の研究力向上 3. 宇宙研究の推進 4. センター研究の推進 5. 教員の研究力の向上	1. 教育基盤構築による教育の質の向上	1. 教育内容・方法の充実 2. 教職員育成	1. 教育に注力するための業務効率化 2. 教育力向上を目的とした予算・資産の最適化 3. 質の高い教育のための教職員の資質向上
環境・体制の創出	1. 教育環境の整備 2. 研究環境の整備 3. キャリア支援の充実 4. 多様な学生の活動支援・活動環境の整備 5. 大学組織のダイバーシティの推進	1. 共育環境の整備 2. ワークライフバランスの実現	1. 教育設備の充実 2. 学生サポート体制の構築	1. 教育力・研究力を高める環境の整備 2. 危機管理体制の強化
ブランドの確立	1. 国内外への広報 2. 高校への広報	1. 入試広報の強化	1. 広報活動の強化 2. 学生募集の強化	1. 学園広報の充実



2. 主な事業まとめ

【福井工業大学】

- ・ 附属高校との連携活動の強化
- ・ 地域の未就学児と児童生徒対象の科学・スポーツ教室の実施
- ・ 海外連携協定校 明知大学（大韓民国）およびハワイ大学（アメリカ）との国際交流
- ・ 同窓会との連携活動の強化
- ・ 学生ポートフォリオの本格運用開始
- ・ 第8回工大サミットの開催
- ・ NASA 有人月探査ミッション Artemis II に参加
- ・ 各センターにおける研究推進
- ・ 企業・地元との共同研究事業
- ・ 教育・研究設備の ICT 化推進
- ・ 各種企業研究会・説明会実施で学生の進路選択支援
- ・ SSL 学生プロジェクトの活性化
- ・ ダイバーシティ推進に向けた教職員研修会の実施
- ・ SNS を活用した情報発信
- ・ オープンキャンパスによる受験者確保の取り組み

【福井高等学校・福井中学校】

- ・ 姉妹校との国際交流～さくらサイエンスプログラム～
- ・ 地域社会との交流
- ・ 5 カ国との国際交流活動
- ・ DX ハイスクール事業採択による取組の推進
- ・ SNS を活用した情報発信
- ・ 生徒主体の生徒募集イベントの実施

【福井県医療福祉専門学校・L'ecole des gourmands Fukui】

- ・ 学園内共同事業の実施
- ・ 地域イベントへの参加
- ・ 地元農家との連携事業
- ・ 海外連携協定校との短期交流プログラムの受け入れ
- ・ 教育内容の充実
- ・ 環境にやさしいごみ処理の実践
- ・ 留学生受け入れ機関への説明会および見学会の実施

【法人本部】

- ・ 吉本興業株式会社との連携による情報発信
- ・ 大学3号館 原子力技術応用工学科実験室改修
- ・ 中学校・高校を対象とした採用説明会への出展
- ・ あわらキャンパス建物改修
- ・ 学園ラッピングバスの運行
- ・ L'ecole des gourmands Fukui 校名変更プロモーション



3. 福井工業大学

中高大連携強化

1. 附属高校との探究授業等での連携

令和6年度に連携を開始した特別進学科の「総合的な探究の時間」との活動を広げて実施しました。令和7年度は、宇宙分野を共通のテーマ軸としつつ、連携した3学科（建築土木工学科・原子力技術応用工学科・環境食品応用工学科）がそれぞれ学科の専門分野と宇宙を掛け合わせたテーマを設定し、探究活動に取り組みました。また、進学Ⅰ類を対象とした連携も開始しており、8学科から全16テーマを設定し、生徒は希望するテーマを選択し探究活動を開始しました。活動は、令和8年9月の成果発表をゴールに設定しており、大学教員による専門的知見に基づくアドバイスや探究活動の進め方への助言を行っていきます。



■探究活動の様子

地域との連携強化

1. 未就学児・児童生徒対象の科学・スポーツ教室の実施

未就学児から小学生を対象とした科学実験教室を実施するとともに、あわらキャンパスにて体験型イベントや小中学生を対象に野球教室を開催しました。また、中学校・高等学校への出前講義を年間12回実施し、本学の教育・研究内容を分かりやすく紹介する機会を設けました。これらの取り組みにより、科学やスポーツに親しみなが

Kanai Educational Institution

ら学ぶ機会を創出し、地域との交流や連携の促進に努めました。



■科学実験キャラバンの様子

海外との連携強化

1. 海外連携協定校との交流

明知大学校（大韓民国）の学生15名を迎え「FUT Summer Program 2025」を実施し、福井県医療福祉専門学校 日本語学科による日本語講座や蕎麦打ち等日本文化を体験しました。交流の最終日には全員浴衣を着てフェニックス花火を足羽川河原にて観賞しました。これらの文化体験には、本学学生もバディとして同行し、体験を通しながら交流を深めました。また、ハワイ大学（アメリカ）での海外語学研修に8名の学生が参加し、ホームステイ先のホストファミリーとの交流を通じて生きた語学を学ぶとともに、現地でしか体験できない文化体験を行いました。



■FUT Summer Program 2025



■海外語学研修（ハワイ大学）

同窓会との連携強化

1. 令和7年度福井工業大学同窓会 定期総会を開催

令和7年5月17日（土）に福井アカデミアホテルにおいて、令和7年度福井工業大学同窓会本部定期総会を開催し、同窓生ならびに学園関係者あわせて86名が参加しました。終始和やかな雰囲気の中で、久しぶりに再会する同窓生同士の懇談も見られ、母校を軸としたつながりの大切さを再確認する機会となりました。さらに、新潟県支部、滋賀県支部、愛知県支部、京都府支部において、それぞれ定期総会を開催し、地域ごとのつながりが一層深まるとともに、世代を越えたネットワークの広がりが感じられる機会となりました。これら一連の活動を通じて、本部と各支部の連携強化が図られ、同窓会全体としての一体感の醸成と組織の活性化が着実に進んでいます。今後も継続的な取り組みを通じて、より多くの同窓生が参加しやすい環境づくりと、魅力ある同窓会活動の推進を図っていきます。

教育の質の向上

1. 学生ポートフォリオの本格運用開始

在学中の学修成果を可視化し、学生が自身の成長度合いを把握するために「学生ポートフォリオ」の導入準備を進めてきました。令和7年度前期より、受講登録ガイダンス時に担当教員と学生が、学生ポートフォリオを用いた面談を全学的に始めました。ポートフォリオには、自身の成績がディプロマ・ポリシーをどの程度到達し

ているかを可視化したレーダーチャートが掲載されており、その時点での学修成果を視覚的に確認することができます。学生は各学期における目標設定（学業や学生生活、資格取得など）を担当教員と共に行い、次学期の面談の際に振り返りを行うことで、主体的な学びと将来の進路選択につながる自己理解を進めていくことが期待できます。また、4年間の学修成果を表した「ディプロマ・サプリメント」を令和7年度卒業生から発行し、学位記と共に配布しました。学修成果の証明書として、卒業後のキャリア形成の補助に活用することができます。今後、これらポートフォリオを運用し、学科全体のディプロマ・ポリシーの到達度の検証とカリキュラムの改善にも繋げていく予定です。



■学生ポートフォリオ

学部生・院生の研究力向上

1. 第8回工大サミットの開催

「工大サミット」は、日本の人材育成に対する工科系大学としての使命と、理工系高等教育の活性化を目指す理念のもと9大学（愛知工



業大学、大阪工業大学、神奈川工科大学、芝浦工業大学、東北工業大学、広島工業大学、福井工業大学、福岡工業大学、北海道科学大学) が加盟しており、本学は令和2年より加盟し活動しています。令和7年11月29日

(土)に本学を会場として第8回工大サミットを開催しました。「地域で輝く先進的理工系人材の育成」をテーマにシンポジウムを開催し、第一部では9大学のプレゼンやディスカッションを行い、第二部では「生成AIの教育研究への活用」と題して3大学(芝浦工業大学/福井工業大学/北海道科学大学)の事例発表・ディスカッションを行いました。学生プレゼンでは、工学研究科博士前期課程応用理工学専攻の学生が、「スマート地上局の構築に向けて」と題して、宇宙研究活動の取り組みを発表しました。また、シンポジウムと並行して「eスポーツ大会」「ROBO-ONE大会」の学生交流イベントを開催し、参加した学生同士が所属の枠を超えて交流を行いました。



■シンポジウムの様子



■eスポーツ大会の様子



■ROBO-ONE大会

宇宙研究の推進

1. NASA有人月探査ミッションArtemis IIに参加

福井工業大学あわら宇宙センターは、NASA(米国航空宇宙局)が実施する有人月探査ミッション「Artemis II (アルテミスII)」において、宇宙船Orionから送信される電波を受信・追跡する公式トラッキング協力局として選定され、日本から参加する唯一の大学地上局となりました。今回の選定は、世界14か国・34の組織および個人が、受信技術力や運用体制、信頼性に加え、継続的な観測体制や国際協力実績など多角的な観点で厳正な審査を経て行われたものであり、本学の宇宙分野における長年の研究実績と国際連携の取り組みが総合的に高く評価された結果といえます。Artemis IIは、4人の宇宙飛行士が搭乗し月を周回して地球へ帰還する約10日間の有人ミッションで、人類の月探査再開に向けた重要なステップとして国際的にも大きな注目を集めています。本学は世界各地の協力局と連携しながら、Orionから受信した信号の周波数(ドップラー)や強度などの観測データをNASAへ提供し、将来の月・火星探査を見据えた分散型国際通信ネットワーク構築の検証に貢献します。令和8年2月4日(水)に実施した記者会見では、選定に至る経緯やこれまでの研究の蓄積、実際の受信・追跡運用に向けた準備状況、さらには学生の参画を通じた教育的意義について具体的な説明がなされ、本学が国際的な観測ネッ



トワークの一翼を担うことの重要性が広く示されました。加えて、学生が実際の国際プロジェクトに関与することによる実践的な学習効果についても言及され、教育面での波及効果の大きさが強調されました。今後も本取り組みを契機として宇宙通信技術のさらなる高度化と実践的な教育研究環境の充実を図り、国際的視野と高度な専門性を兼ね備えた宇宙分野の技術者・研究者の育成を推進するとともに、地域社会への積極的な情報発信や連携活動を通じて、本学の特色ある教育研究活動の一層の発展と国際社会への貢献に努めてまいります。



■ 令和8年2月4日（水）記者会見の様子
センター研究の推進

1. AI&IoTセンターの研究推進

福井工業大学AI&IoTセンターでは、産学官連携のもと地域課題の解決と新たな価値創出に向けた研究活動および人材育成を推進しています。医療・観光・ビジネスを中心に、AI活用による地域イノベーションの実現を目指し、観光DXや医療分野での実証実験、共同研究を展開するとともに、シンポジウムやセミナー、ワークショップの開催を通じて実践的な学びの機会を提供しています。これらの取り組みの一環として、令和8年1月28日（水）に「AI&IoTコンソーシアムシンポジウム2026」を開催し、約130名が参加しました。

2. まちづくりデザインセンターの研究推進

福井工業大学まちづくりデザインセンターでは、自治体や地域団体と連携し、空き

Kanai Educational Institution

家活用や公共空間の再編など地域課題に対応した研究・教育活動を展開しています。学生主体の調査やワークショップを通じて実践的な人材育成を推進しています。これらの取り組みの一環として、令和8年2月8日（日）に防災講座を開催し、約100名が参加しました。講座では被災経験を踏まえた地域づくりの事例が紹介され、防災と復興の在り方について理解を深めました。

3. ウェルネス&スポーツサイエンスセンターの研究推進

福井工業大学ウェルネス&スポーツサイエンスセンターでは、研究成果の発信強化と地域貢献の推進を目的に、研究紀要の創刊や学会発表を行うとともに、姿勢改善プログラムや体力測定、ジュニアアスリート支援などの実践的な事業を展開しています。あわせて公開講座やリカレント教育を通じて人材育成と知見の普及を図り、教育・研究・地域連携を一体的に推進しています。これらの取り組みの一環として、令和8年2月26日（木）に第4回福井ウェルネス&スポーツサイエンス研究会を開催し、46名が参加しました。研究会では、地域スポーツによるまちづくりや育成年代のケガ予防をテーマとした講演が行われ、活発な質疑応答を通じて理解を深めました。

4. 未来ロボティクスセンターの研究推進

福井工業大学未来ロボティクスセンターは、最先端のロボティクス技術を活用し、農業や災害対応、環境問題から宇宙分野まで幅広い社会課題の解決を目指す研究拠点です。AIや自動車関連技術を取り入れた実用的なロボット開発や月面探査ローバーの研究を推進するとともに、産学官連携による地域貢献や次世代人材の育成にも取り組んでいます。こうした活動の一環として、令和7年10月11日（土）に小中学生ロボットコンテストを開催



し、児童・生徒が自作ロボットで課題に挑戦しました。



■小中学生ロボットコンテストの様子

教員の研究力の向上

1. 企業等との共同研究取り組み①

AI&IoTセンターおよび電気電子情報工学科は、株式会社ホリタと連携し、生成AIを活用した次世代店舗DXの実現に向けた共同研究に継続的に取り組んでいます。本取り組みでは、顔情報と簡単な質問から利用者の嗜好や属性、志向等を多面的に分析し、一人ひとりに最適な文具を提案する「AI文具診断」を開発しました。これまでの実証を踏まえ、より利便性を高めたタブレット型として機能の高度化を図っています。令和8年2月6日（金）には、その進化版について記者発表を行い、ホリタ文具春江店において実証実験を開始しました。今後は、一般来店客を対象としたAI推論精度の検証や、利用ログ・アンケートの分析を通じた統計的有意性の確認を進めるとともに、顧客データの蓄積によるマーケティング活用や店舗サービスの高度化につなげていきます。

2. 企業等との共同研究取り組み②

長崎県五島市赤島で雨水のみで生活する環境を背景に、デザイン学科近藤研究室と環境食品応用化学科笠井研究室が共同で進めてきた「しまあめラボ」プロジェクトが、2025年度グッドデザイン・ベスト100およびグッドフォーカス賞〔新ビジネスデザイン〕を受賞しました。本取り組みは、雨水を効率的に集水・貯留・浄化する「雨畑」を開発し、生活環境の改善と地域活性化を同時に実現した点

Kanai Educational Institution

が高く評価されたものです。持続可能な社会モデルとしての意義も大きく、長年の赤島での実践が結実した成果といえます。

教育環境の整備

1. 教育・研究設備のICT化推進

本部・大学・高校・中学・専門学校と連携し、「情報インフラ」「共通実習室」「学生・教職員利用環境」などのICT環境について検討を進めています。また、情報セキュリティリスクを把握するため第三者による診断を実施した結果、スコアは95点となり、教育機関の平均を上回るセキュリティレベルが確認されました。



■情報セキュリティリスク診断結果

キャリア支援の充実

1. 各種企業研究会・説明会実施で学生の進路選択支援

企業や団体、行政と連携し、学生と企業との接点の場を提供しました。対面での交流を通じて、企業の魅力や職場の雰囲気を直接感じてもらうことで、学生の職業理解を深め、進路選択の幅を広げました。実際に企業に足を運んで現場の雰囲気を味わうことのできる1～3年生対象の「企業見学バスツアー」は、令和7年度は2回実施し、全部で9社に訪問しました。また、計4日間実施した学内合同企業研究会には、参加企業269社、参加学生数は延べ789名におよびました。その他、4年生対象の学内個別企業説明会には、338社もの企業から申し込みがありました。

多様な学生の活動支援・活動環境の整備

1. SSL学生プロジェクトの活性化

SSL (Student Space Laboratory) は学



生のものづくりの自由な発想を後押しし、「やってみたい」と思う工学的プロジェクトに対して技術的・資金的支援を行う制度です。令和7年度は、従来から継続実施している公認プロジェクトである「FUT学生フォーミュラプロジェクト」「Ene-1GP電気自動車プロジェクト」に「ロボットファクトリープロジェクト」が新たに加わりました。令和7年度に開催された第8回工大サミットと同時開催のROBO-ONE大会では、準優勝という成績を収めました。その他、簡易プロジェクトとして「模型ファクトリープロジェクト」が活動を行っており、日々SSLにおいてもものづくりに励んでいます。



■ROBO-ONE大会の様子

大学組織のダイバーシティの推進

1. ダイバーシティ推進に向けた研修会の実施

令和8年1月28日（水）、FD・SD推進委員会共催、ダイバーシティ・SDGs推進委員会主催により、全教職員対象に、ダイバーシティ推進に向けた教職員研修会を大学1号館8階805教室で実施しました。長崎大学障がい学生支援室准教授のピーターバーニック先生を講師としてお招きし、53名の教職員が参加しました。講演会では、バーニック先生から「アンコンシャス・バイアス？ ～意識して探してみる～」と題して、無意識の思い込みについて、アンコンシャス・バイアスの種類や具体例を示すとともに、教職員間でお互いの体験をもとにグループワークを実施し、その情報を共有することで更なる理解が深まる研修となりました。参加者からは、「気づきが多かった」「今後の教育の現場で活かしていける」などの感想が多数寄せられました。今

後もダイバーシティ推進に向けた教職員の意識醸成を図るための取り組みを展開していきます。

国内外への広報

1. SNSを活用した情報発信

広報ツールとしてSNSを活用した情報発信の見直しを図るため、各SNSの特性を踏まえた発信方法の改善を行いました。X（旧Twitter）については、若年層だけでなくミドル層においても利用率が高く、主な利用目的としてニュースや話題の収集が多いことから、情報収集を目的としたユーザーが多数を占めるとされています。そこで、従来の投稿方法を改め、本学ホームページで発信しているニュース等を引用する形で投稿する運用へと改善しました。これにより、Xをホームページ掲載情報への導線として活用することを可能としました。次に、Instagramについては、視覚的なコンテンツに強みを持つツールである一方で、公式アカウントでは投稿の視覚的な統一感に課題がありました。この点を改善するため、投稿時のルールを設けることで統一感のあるビジュアルに基づいた発信へと見直しました。またInstagramのストーリーズ機能が持つ「気軽に情報発信ができる」という特性を活かし、日常的な話題を中心とした発信を行うことで、本学に興味を持つ前段階の層にアプローチできる内容となるよう工夫しました。

高校への広報

1. オープンキャンパスによる受験者確保の取り組み

3月から10月にかけて、受験生の志望校検討から出願期間までを見据え、計8回のオープンキャンパスを開催しました。来場者確保に向けては、定期的な高校訪問や進路ガイダンス等での告知を実施し、周知の機会を確保しました。さらに、各種広報媒体による告知と並行して、個別最適化DMを活用し、受験生との接触履歴等に基づいて掲載情報を差別化することで、来場促進を図りました。オープンキャンパスには、延べ2,373名が来場し、そのうち3年生は780名（令和7年度比59名増）となりました。



4. 福井工業大学附属福井高等学校・福井中学校

金井学園内連携の強化

1. 姉妹校との交流～さくらサイエンスプログラム～

科学技術振興機構が実施する「国際青少年サイエンス交流事業」の採択を受け、姉妹校であるタイのシーナカリンウィロート大学附属プラサーンミット高校およびブルークパンヤスクールを招聘し、交流を深めました。招聘前から Teams を用いて英語で互いに発表し、招聘後は、「地震や自然災害から学ぶ次世代の都市開発」をテーマに、福井工業大学と共同し、大学工学部建築土木工学科の教授らの講義を受け、能登半島の被災地や東尋坊にある気象レーダー観測所に訪れるなどしました。また、本プログラムのまとめとして、高校にてドローンや衛星データを用いた防災についての講義および演習を実施しました。実際にドローンを操作し、震災映像や写真を見たりすることで、震災や災害について当事者意識をもって検討する機会となりました。



■ さくらサイエンスプログラム参加者

地域社会連携活動の強化

1. 地域社会との交流

社中央第一こども園や東安居公民館との

地域交流に加え、自治体主催のボランティア活動への参加や福井県立福井特別支援学校との行事を通じた交流を行いました。ボランティア活動として、「第 15 回福井県障がい者スポーツ大会」が令和 7 年 5 月 24 日～6 月 8 日に開催され、本校からは 110 名の生徒が参加し、大会が円滑に進行するよう運営補助を務めました。様々な交流活動に参加した生徒が、活動で得た知識や経験を生かして探求学習やキャリア学習につなげられるよう支援することができました。今後も関係を継続し、生徒に幅広い学びの機会を提供できるようにしていきます。



■ 東安居公民館まつり ボランティア活動



■ 福井県立特別支援学校との伝統行事交流
七夕飾り作りの様子



海外との連携強化

1. 5 カ国との国際交流活動

姉妹校であるタイのシーナカリンウィロート大学附属プラサーンミット高校およびブルークパンヤスクールと連携し、令和 6 年度に引き続きスポーツ交流と日本語学習交流を実施しました。また、同じく姉妹校であるオーストラリアの Sacred Heart College と Mater Dei College との交換留学も実施しました。ホームステイで生活していく中で、多様な価値観に触れ、異文化理解を深めるとともに、実践的な英語活用の向上が見られました。さらに、姉妹校以外の機関とも新たな国際交流を実施し、台湾の学校 2 校やイギリスの City of London School for Girls、ドイツの RBZ Wirtschaft Kief と交流を行いました。

教育基盤構築による教育の質の向上

1. DX ハイスクール事業採択による取組の推進

学びの質の向上と校務の効率化を両立するため、教育基盤の見直しとデジタル活用の促進に取り組んでおり、令和 7 年度は DX ハイスクール事業に採択され、ICT 環境の一層の充実を図り、生徒の主体的・探究的な学びを支える体制を整備しました。デジタルスペースである「ALL 研究室 (Advanced Learning Laboratory)」を整備し、3D プリンターや高性能 PC などを活用した探究活動を展開しました。



■ALL 研究室

入試広報の強化

1. SNS を活用した情報発信

魅力ある生徒募集の実現に向けて、令和 6 年度から取り組んでいる生徒主体の募集イベントの内容を見直しました。また、本校生徒の生き生きとした学校生活や活動の様子を発信することこそが、最も効果的な生徒募集につながるとし、SNS の運用方法について改善・工夫を行い、広報活動の充実に努めました。具体的には、Instagram を活用し、学校生活の様子や部活動の結果等について継続的に発信し続けた結果、Instagram のフォロワー数は年々増加傾向にあり、令和 7 年度は 1 年間で 1,346 人増加しました。

2. 生徒主体の生徒募集イベントの実施

生徒会を中心に、オープンキャンパス、学校説明会、特別進学科説明会、衛生看護科説明会を 2 回ずつ実施しました。生徒が主体となって企画・運営に関わることで、中学生や保護者に本校の特色や学校生活の魅力を分かりやすく伝える機会となりました。オープンキャンパスでは、在校生によるパネルディスカッションや探究活動の発表を行い、生徒の視点から学校生活や実際の学びを具体的に紹介しました。参加した中学生にとって、学校生活がより身近に感じられる機会となり、本校への理解を深めることにつながりました。



5. 福井県医療福祉専門学校・L'ecole des gourmands

Fukui

学园内連携活動の強化

1. 学园内共同事業の実施

福井県医療福祉専門学校と L'ecole des gourmands Fukui の両校共同で新入生スタートアッププログラムを実施し、本校へ入学した学生へ多角的な視野と柔軟な思考アプローチを提供し学校の垣根を越えた学生との交流で関係を深めることができました。また、高校と中学校に L'ecole des gourmands Fukui の教員を派遣し専門的な分野の授業を提供することで、仕事に直結する知識と技術を実習中心で行う体験プログラムを実施しました。さらに、大学祭や学園祭では、専門学校ブースを設け、学生が主体的に活動する場を設けました。

地域との連携強化

1. 地域イベントへの参加

福井県医療福祉専門学校日本語学科では地域社会の活性化や国際化を目指し、異文化理解や啓発のために国際交流フェスティバルに参加しました。また、介護福祉学科の学生がよさこいの練習に取り組み、学園祭や地域の福祉ふれあいまつりなどで日頃の成果を披露していました。

L'ecole des gourmands Fukui では、県内の子ども食堂やフードバンクへ、学生たちが実習で手作りしたクリスマスケーキを寄贈する社会貢献活動を行っており、訪問時にはケーキの贈呈だけでなく、福井県医療福祉専門学校の学生らも贈呈会へ参加し、音楽演奏やクイズなどでクリスマス会を盛り上げる交流企画も実施しました。

2. 地元農家との連携事業

L'ecole des gourmands Fukui では製菓の技術向上だけでなく、食育と地域振興を同時に学ぶことを目的として地元農家と連携を取り「地産地消」の取り組みを行っています。田植えやブルーベリー収穫、さつま芋の植え付け等の農業体験から商品開発・販売までを一貫して経験することで、食材が育つ背景や地元農家と連絡を取り合い、パティシエとして必要な知識を磨きました。また、地域産業へ貢献する視点を養うために JA 福井県と協力し、地元農作物を活用したスイーツの開発から販売までを行いました。今後も継続して地元の恵みを活かしたお菓子作りの感性を磨いていきます。

海外との連携強化

1. 短期交流プログラムの受け入れ

福井県医療福祉専門学校日本語学科では、福井工業大学との海外連携協定先である韓国の明知大学の学生 15 名をサマープログラムと称し、交流プログラムを実施し、日本語の授業を開講しました。その他、タイ王国バンコクに設置されている ASEAN オフィスと連携を取り、シーナカリンウィロート大学附属プラサーンミット高校の学生 10 名を迎え、福井県医療福祉専門学校では日本語授業や介護体験を行い、L'ecole des gourmands Fukui では和菓子作りを行いました。

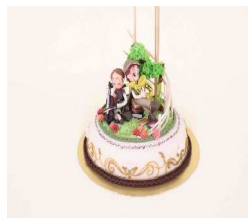


■和菓子作りの様子

教育内容・方法の充実

1. 教育内容の充実

日本全国からプロのパティシエや製菓学校の学生が集結し、腕前を競い合う日本最大級の洋菓子コンテストへ L'ecole des gourmands Fukui から、マジパン部門 6 作品・バタークリーム部門で 3 作品を出品し、本校の学生が銅賞を受賞しました。また、北陸ブロック大会ではエコール部門において北陸ブロック協議会会長賞を受賞し、福井県大会では金・銀・銅・敢闘賞の全てを受賞しました。マジパン部門・バタークリーム部門で多数の受賞歴を持つ外部講師の特別授業での指導や学生クラブ活動の賜物となりました。



■学生の受賞作品

教育設備の充実

1. 環境にやさしいごみ処理の実践

L'ecole des gourmands Fukui へ令和 6 年度に設置したコンポストを引き続き活用し

ました。実習授業内で排出した食品残渣を中心にコンポストへ廃棄することを通して、食品加工者として持つべき環境への配慮について教育を行ってきました。令和 7 年度は、1 年間使用してきたコンポストの土を専門学校の花壇に使用し、ケーキのデコレーションに使用するハーブの 1 種であるチャービルとサツマイモを植え付け、これらの育成及び収穫を行いました。これらの経験を通して、日々の小さな行動が持続可能な環境づくりにつながることを体感し、食品加工者としての視野が広がり、素材への敬意や無駄を減らす意識が高まりました。

広報活動の強化

1. 留学生受け入れ機関への説明会および見学会の実施

本校独自の外国人介護福祉育成制度を県内介護施設へ周知するために、留学生受け入れ検討中介護施設対象の説明会を実施しました。説明会にあわせて授業見学会も開催し、日本語習熟に向けた本校の取り組みや留学生の授業風景を初級・中級・中上級・上級の日本語レベル別にご覧いただきました。留学生の日本語力の高さに驚く声や積極的に勉学に取り組む姿勢に感心したというご意見を数多くいただきました。また、本校の教育への理解促進のため、現在留学生受け入れ施設対象の授業参観会と個別面談を実施しました。個別面談では、学校と施設での学生の様子の情報交換をし、受け入れ施設と課題を共有しました。学生からも普段お世話になっている施設様に授業を見に来ていただくことは励みになったという声が多く上がりました。



6. 法人本部

学園内連携の強化

1. 吉本興業株式会社との包括連携協定に基づいた各学校の魅力発信

令和4年5月に締結した吉本興業株式会社との包括連携協定について、令和7年度も継続し、学園内連携の強化を目的とした各種協同プロジェクトを実施しました。令和7年9月4日（木）開催の中高祭においては、中学、高校、大学、専門学校等の学生・生徒に加え、留学生や教職員も参加し吉本新喜劇を開催しました。学園横断型の取り組みとすることで各校の連携を深化するとともに、学園全体としての一体感の醸成を図りました。これにより所属や世代を超えた交流機会が創出され、学園としての結びつきを再認識する機会となりました。また、BS よしもとで「ロングコートダディのつるつるいっぱい学園」、You Tube企画で「GAG 福井、福井に行く。」を月1回放送しました。



■中高祭 吉本新喜劇の様子

教育力・研究力を高める環境の整備

1. 原子力技術応用工学科実験室の整備

大学3号館に設置している、原子力技術応用工学科の203放射能医療応用演習室、204放射能計測実験室が経年劣化により天井、床、壁等が傷んでいたため改修工事を実

施しました。改修工事により、室内は落ち着いた雰囲気となり、更なる教育力・研究力を高めていくことに期待できます。また、204放射能計測実験室と廊下との壁をガラス壁に変更したことにより、採光がとれるとともに、スタイリッシュで開放的なイメージとなり、演習室内をいつでも見学できるようになりました。



■204 放射能計測実験室



■203 演習室及び 204 実験室の廊下

2. 中学校・高等教育を対象とした採用説明会に出展

株式会社ブレインアカデミーが主催する「私立小中高教員採用説明会&選考会」に5月と9月の計3回出展しました。出展する各学校のブースで、学校説明・採用説明を複数回行い、本学の教育や課外活動の様子や特色を伝え、本学で教壇に立つイメージを持ってもらえるよう説明を行いました。また、説明会後、興味を持った参加者に対し、より具体的に学校の雰囲気を伝えるとともに面談を実施しました。



危機管理体制の強化

1. あわらキャンパス建物改修

あわらキャンパス 1 号館及び 2 号館は築 40 年を経過しており、経年劣化による屋根、外壁のコーキング部分、窓サッシ部分など建物全体が著しく傷んでおり雨漏れによる問題が発生していました。同様に、2 号館も、経年劣化による損傷が激しく、修繕 I 期工事を実施しました。また、あわらキャンパス内のトレーニングセンターは築 25 年が経過し、入口自動ドアが作動しなくなったため、入口自動ドアの改修とともに風除室を新設しました。利用者が安心し、且つ不便なく施設を利用でき、更なる教育力・研究力を高めていくことに期待できます。



■あわらキャンパス 1 号館（東南面）



■あわらキャンパストレーニングセンター

学園広報の充実

1. 学園ラッピングバスの運行

学園にはラッピング車両（ロゴマーク・校名入りを含む）24 台を保有しクラブ活動における遠征時や、市内を走るシャトルバス運行など、県内外に関わらず地域の方々への知名度向上につなげております。令和 7 年度は、ラッピング車両の総走行距離が

597,650km と令和 6 年度と比べて 117% 増加し、学園広報の充実につなげました。



■学園ラッピングバス

2. マスメディア・SNS による学内外への発信の強化 : L'ecole des gourmands Fukui 校名変更プロモーションの促進

福井製菓専門学校は、2025 年 4 月に L'ecole des gourmands Fukui「食を愛する人の学校」を校名に掲げ、世界基準の技術・知識・感性を磨く製菓 academy として、新たなスタートを切りました。校名変更を記念して、令和 7 年 4 月 19 日（土）に福井アカデミアホテルにて L'ecole des gourmands Fukui よるスイーツパーティーを開催し、福井県内のお菓子好きな高校生とその保護者約 100 名が集いました。本校特別講師であるパティスリー・サダハル・アオキ・パリ代表取締役社長 青木定治氏と、Samurai Dream 株式会社代表取締役社長 深山晋作氏からのビデオメッセージを放映しました。その他、吉本興業株式会社のお笑い芸人らいおんうどんと、こじまラテの二組がパーティーを盛り上げてくれました。



■スイーツパーティーの様子



7. 施設等の状況

主な施設設備の状況は次のとおりです。

所在地	施設等	面積等(うち所有地)	帳簿価格(千円)	概要
福井県福井市 (福井キャンパス)	校地	73,076 m ² (40,685 m ²)	2,623,230	大学、高校、中学校及び法人本部が利用している
	校舎等	74,641 m ²	12,278,996	
福井県福井市 (角折校地)	校地	15,827 m ² (13,020 m ²)	243,476	クラブ活動に利用している
	校舎等	556 m ²	53,343	
福井県あわら市 (あわらキャンパス)	校地	159,387 m ² (105,603 m ²)	1,138,688	大学の学部の一部とクラブ活動に利用している
	校舎等	9,215 m ²	1,293,419	
福井県吉田郡永平寺町 (カル・マイヤーグラウンド)	校地	121,085 m ²	138,740	大学および高校のグラウンドとして利用している
	校舎等	3,786 m ²	766,299	
福井県福井市 (高木校舎)	校地	2,923 m ² (2,923 m ²)		福井県医療福祉専門学校が利用している
	校舎等	1,884 m ²	207,630	
福井県福井市 (松本校舎)	校地	1,222 m ² (1,222 m ²)	83,228	福井県医療福祉専門学校と福井製菓専門学校が利用している
	校舎等	1,926 m ²	80,907	
福井県福井市 (成和校舎)	校地	m ²		福井県医療福祉専門学校が利用している
	校舎等	504 m ²	14,682	
福井県坂井市 (第三体育館)	校地	1,049 m ² (1,049 m ²)	3,254	福井県医療福祉専門学校と福井製菓専門学校が利用している
	校舎等	815 m ²	3,218	

(令和8年3月31日現在)

【令和7年度 実績】

- ・福井工業大学あわらキャンパス1号館・2号館修繕Ⅰ期工事(令和7年11月完成)
- ・福井工業大学あわらキャンパストレーニングセンター風除室新設工事
(令和7年11月完成)

- ・福井工業大学FUTタワー外壁修繕工事(令和7年11月完成)
- ・福井工業大学3号館2階原子力実験室改修工事(令和7年12月完成)
- ・福井工業大学3号館内部階段改修工事(令和7年12月完成)
- ・学園第二体育館照明設備取替工事(令和8年3月完成)

【令和8年度 予定】

- ・福井工業大学あわらキャンパス1号館修繕Ⅱ期工事(令和8年5月予定)
- ・福井工業大学2号館6階601・603講義室及び6階廊下改修工事(令和8年8月予定)
- ・福井工業大学あわらキャンパス2号館トイレ改修工事(令和8年7月予定)
- ・高校啓発寮旧館男子トイレ改修工事(令和8年9月予定)
- ・学園第二体育館男子トイレ改修工事(令和8年11月予定)

○ 耐震化率	97.76%
-大学	100.00%
-中高	97.13%
-専門学校	79.42%



1. 決算の概要

1-1. 資金収支計算書

【概要】

資金収支の規模は、前年度比 1,113 百万円減の 11,531 百万円となりました。

まず、収入の部については、主たる収入である学生生徒等納付金収入において、前年度比 20 百万円増の 3,533 百万円となりました。補助金収入では、前年度比 223 百万円増の 1,433 百万円となりました。

支出の部については、教育研究経費が前年度比 176 百万円増の 2,143 百万円となりました。なお、今年度施設関係支出は前年度比 851 百万円減の 142 百万円、設備関係支出は前年度比 125 百万円減の 121 百万円となりました。

【経年比較表】

(単位：千円)

収入の部	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
学生生徒等納付金収入	3,845,330	3,770,736	3,720,670	3,513,593	3,533,479
手数料収入	44,819	45,285	39,194	31,086	31,411
寄付金収入	184,906	112,347	98,498	93,920	87,503
補助金収入	1,143,426	1,260,092	946,679	1,209,733	1,432,790
資産売却収入	1,162	760	73,674	411	113,140
付随事業・収益事業収入	50,696	96,746	63,555	178,038	84,847
受取利息・配当金収入	183,987	170,401	175,789	214,628	198,903
雑収入	106,168	91,516	127,170	119,228	95,479
借入金等収入	2,000,000	0	0	0	1,048,000
前受金収入	480,410	454,255	449,660	464,152	433,701
その他の収入	7,233,462	6,409,406	6,447,196	5,960,344	4,208,322
資金収入調整勘定	△ 783,618	△ 637,422	△ 630,030	△ 778,119	△ 722,969
前年度繰越支払資金	1,930,927	3,106,788	2,510,282	1,637,251	986,193
収入の部合計	16,421,675	14,790,909	14,022,338	12,644,265	11,530,800

支出の部	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
人件費支出	2,677,032	2,796,917	2,810,509	2,815,131	2,825,870
教育研究経費支出	1,739,954	1,965,812	2,052,197	1,967,821	2,143,417
管理経費支出	655,193	813,114	859,934	816,146	767,742
借入金等利息支出	2,635	5,581	4,684	3,772	14,611
借入金等返済支出	95,200	285,600	285,600	285,600	1,152,800
施設関係支出	1,023,206	1,643,012	775,119	993,234	141,883
設備関係支出	640,380	398,818	272,949	245,617	121,090
資産運用支出	5,253,183	2,551,703	3,489,151	2,578,865	919,419
その他の支出	2,111,623	2,473,160	2,399,123	2,367,199	2,355,035
資金支出調整勘定	△ 793,517	△ 653,091	△ 564,179	△ 415,312	△ 361,153
翌年度繰越支払資金	3,016,788	2,510,282	1,637,251	986,193	1,450,086
支出の部合計	16,421,675	14,790,909	14,022,338	12,644,265	11,530,800



1-2. 事業活動収支計算書

【概要】

学園全体での経費削減に努めたが、教育活動収支差額において前年度比 62 百万円の収支悪化、教育活動外収支差額においても前年度比 26 百万円の収支悪化となり、経常収支差額は前年度比 87 百万円の収支悪化（△1,721 百万円）となりました。

また、特別収支差額は、賞与引当金特別繰入額の計上により、352 百万円減の

△167 百万円となりました。よって、基本金組入前当年度収支差額は、前年度比 439 百万円増の△1,888 百万円、当年度収支差額は前年度比 648 百万円減の 1,980 百万円の支出超過を計上し、翌年度繰越収支差額は 21,325 百万円の支出超過となりました。

事業活動収入計は前年度比 18 百万円減額となりました。

(単位：千円)

【経年比較表】

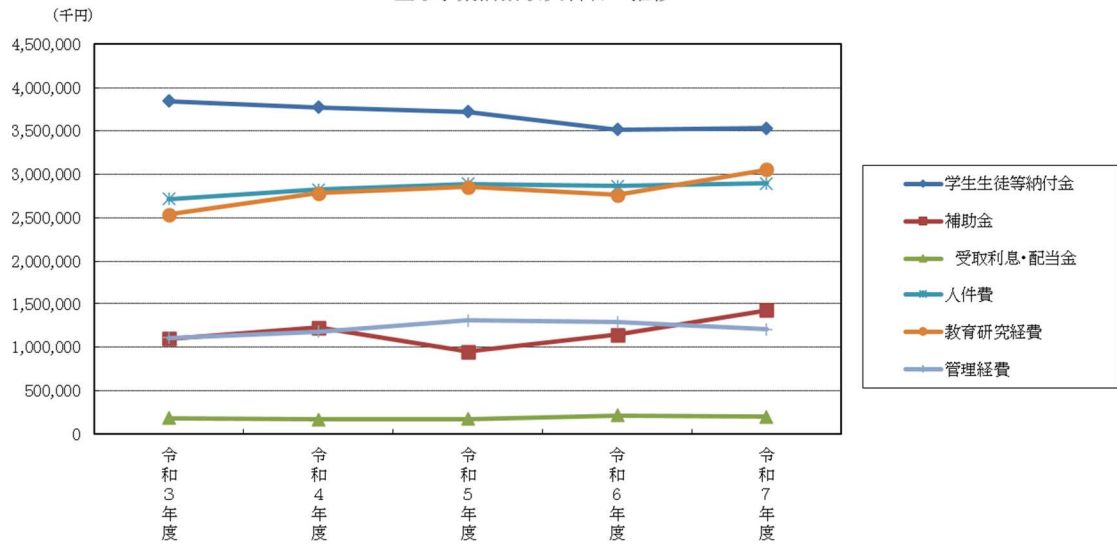
科目		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
教育活動収入の部	学生生徒等納付金	3,845,330	3,770,736	3,720,670	3,513,593	3,533,479
	手数料	44,819	45,285	39,194	31,086	31,411
	寄付金	185,106	112,686	99,257	96,501	89,790
	経常費等補助金	1,098,749	1,225,370	946,679	1,145,063	1,422,820
	付随事業収入	50,561	96,426	63,794	177,643	84,653
	雑収入	105,573	100,726	125,348	119,228	96,705
	教育活動収入 計	5,330,138	5,351,229	4,994,942	5,083,114	5,258,859
	人件費	2,717,251	2,824,316	2,891,348	2,865,491	2,894,042
	教育研究経費	2,536,939	2,784,343	2,853,365	2,762,692	3,054,101
教育活動支出の部	管理経費	1,108,200	1,178,269	1,304,953	1,285,623	1,204,232
	徴収不能額等	578	5,667	4,528	13,494	12,283
	教育活動支出 計	6,362,969	6,792,595	7,054,194	6,927,300	7,164,659
	教育活動収支差額	△ 1,032,830	△ 1,441,366	△ 2,059,252	△ 1,844,187	△ 1,905,800
科目		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
教育活動外収入の部	受取利息・配当金	183,987	170,401	175,789	214,628	198,903
	その他の教育活動外収入	595	0	1,822	0	452
	教育活動外収入 計	184,582	170,401	177,611	214,628	199,355
	借入金等利息	2,635	5,581	4,684	3,772	14,611
	その他の教育活動外支出	0	3,153	0	781	255
	教育活動外支出 計	2,635	8,734	4,684	4,553	14,866
教育活動外収支の部	教育活動外収支差額	181,947	161,667	172,927	210,075	184,489
	経常収支差額	△ 850,884	△ 1,279,699	△ 1,886,325	△ 1,634,112	△ 1,721,311
科目		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
特別収入の部	資産売却差額	372,211	92,240	665,735	188,913	60,750
	その他の特別収入	370,889	49,071	23,860	70,529	19,971
	特別収入 計	743,100	141,311	689,595	259,442	80,721
	資産処分差額	14,826	91,616	72	74,398	4,059
	その他の特別支出	1,624	0	0	0	243,633
	特別支出 計	16,450	91,616	72	74,398	247,692
特別収支の部	特別収支差額	726,649	49,695	689,523	185,044	△ 166,971
	基本金組入前当年度収支差額	△ 124,235	△ 1,230,005	△ 1,196,802	△ 1,449,068	△ 1,888,282
基本金組入額合計		△ 1,935,340	△ 1,626,282	△ 999,240	△ 1,179,809	△ 92,187
当年度収支差額		△ 2,059,575	△ 2,856,297	△ 2,196,042	△ 2,628,877	△ 1,980,469

(参考)

事業活動収入計	6,257,821	5,662,942	5,862,148	5,557,184	5,538,934
事業活動支出計	6,382,054	6,892,945	7,058,950	7,006,252	7,427,216



主な事業活動収支科目の推移



1-3. 貸借対照表

【概要】

本年度の資産総額は、前年度比 1,831 百万円減の 28,445 百万円となりました。

資産の部においては、学園施設・設備の新設・改修を実施しました。

負債の部においては借入金の返済計画変更等の理由により、負債総額は、前年度比 57 百万円増の 3,417 百万円となりました。

【経年比較表】

(単位: 千円)

科 目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
固定資産	31,951,515	30,904,091	30,207,964	28,882,857	26,571,386
流動資産	3,332,028	2,718,013	1,885,081	1,393,227	1,874,027
資産の部合計	35,283,543	33,622,104	32,093,045	30,276,085	28,445,413
固定負債	2,828,242	2,556,913	2,348,235	2,111,119	2,239,053
流動負債	1,662,752	1,502,647	1,379,068	1,248,292	1,177,968
負債の部合計	4,490,994	4,059,560	3,727,303	3,359,411	3,417,021
基本金	43,805,632	45,431,914	46,431,154	47,360,963	46,353,151
繰越収支差額	△ 13,013,084	△ 15,869,371	△ 18,065,412	△ 20,444,290	△ 21,324,759
純資産の部合計	30,792,548	29,562,544	28,365,742	26,916,674	25,028,392
負債及び純資産の部合計	35,283,543	33,622,104	32,093,045	30,276,085	28,445,413



2. 主な財務比率比較

2-1. 主な財務比率比較

比 率	計算式	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{経常収入}}$	49.3%	51.2%	54.3%	54.1%	53.0%
人件費依存率	$\frac{\text{人件費}}{\text{学生生徒等納付金}}$	70.7%	74.9%	75.5%	81.6%	81.9%
教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{経常収入}}$	46.0%	50.4%	55.2%	52.1%	56.0%
管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{経常収入}}$	20.1%	21.3%	25.1%	24.3%	22.1%
借入金等利息比率	$\frac{\text{借入金等利息}}{\text{経常収入}}$	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.3%
事業活動収支差額比率	$\frac{\text{基本金組入前当年度収支差額}}{\text{事業活動収入}}$	-2.0%	-21.7%	-20.6%	-26.1%	-34.1%
基本金組入後収支比率	$\frac{\text{事業活動支出}}{\text{事業活動収入－基本金組入額}}$	147.6%	170.8%	104.2%	104.0%	136.4%
学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{経常収入}}$	69.7%	68.3%	71.9%	66.3%	64.7%
寄付金比率	$\frac{\text{寄付金}}{\text{事業活動収入}}$	3.0%	2.0%	2.1%	1.8%	1.8%
経常寄付金比率	$\frac{\text{教育活動収支の寄付金}}{\text{経常収入}}$	3.4%	2.0%	1.9%	1.8%	1.6%
補助金比率	$\frac{\text{補助金}}{\text{事業活動収入}}$	17.6%	21.6%	16.2%	20.6%	25.9%
経常補助金比率	$\frac{\text{教育活動収支の補助金}}{\text{経常収入}}$	19.9%	22.2%	18.3%	21.6%	26.1%
基本金組入率	$\frac{\text{基本金組入額}}{\text{事業活動収入}}$	30.9%	28.7%	15.8%	21.2%	1.7%
減価償却額比率	$\frac{\text{減価償却額}}{\text{経常支出}}$	17.7%	17.4%	17.7%	18.3%	18.7%
経常収支差額比率	$\frac{\text{経常収支差額}}{\text{経常収入}}$	-15.4%	-23.2%	-36.4%	-30.8%	-31.5%
教育活動収支差額比率	$\frac{\text{教育活動収支差額}}{\text{教育活動収入計}}$	-19.4%	-26.9%	-41.1%	-36.3%	-36.2%

○ 「学校法人会計基準」に基づく事業活動収支計算書を用いて、表に示された計算式により、比率を算出しました。

※1 経常収入 ＝ 教育活動収入計 ＋ 教育活動外収入計

※2 経常支出 ＝ 教育活動支出計 ＋ 教育活動外支出計



3. その他

3-1. 有価証券の状況

(単位：千円)

		(令和8年3月31日)		
		貸借対照表計上額	時価	差額
時価が貸借対照表を上回るもの	有価証券	214,620	416,045	201,425
	減価償却引当特定資産	1,433,218	1,863,190	429,973
	施設設備拡充引当特定資産	1,214,807	1,526,208	311,401
	退職給与引当特定資産	561,846	574,447	12,601
	第2号基本金引当特定資産	425,000	463,505	38,505
	第3号基本金引当特定資産	1,000,000	1,212,871	212,871
	計	4,849,491	6,056,267	1,206,776
	(うち満期保有目的債券)			
時価が貸借対照表を上回らないもの	減価償却引当特定資産			
	施設設備拡充引当特定資産	409,330	361,666	△ 47,664
	退職給与引当特定資産	474,715	436,705	△ 38,010
	教育研究基金	120,660	107,892	△ 12,768
	計	1,004,706	906,263	△ 98,442
	(うち満期保有目的債券)			
合 計		5,854,197	6,962,530	1,108,333
(うち満期保有目的の債券)				
時価のない有価証券		1,910		
有価証券合計		5,856,107		

種類	(令和8年3月31日)		
	貸借対照表計上額	時価	差額
株 式	335,070	627,145	292,075
投資信託	1,292,989	1,352,316	59,327
その他	4,226,137	4,983,069	756,932
計	5,854,197	6,962,530	1,108,333
時価のない有価証券	1,910		
有価証券合計	5,856,107		

3-2. 借入金の状況

(令和8年3月31日現在)

借入先	借入残高	利率	借入期間	担保等
福井銀行	943,200千円	1.46%	10年0か月	なし

3-3. 学校債の状況 . . . なし



3-4. 寄付金の状況

○教育振興寄付金（大学：1口5万円、高等学校・中学校・専門学校：1口3万円）

令和7年度 募集実績

・大学	1,450 千円
・高等学校	2,265 千円
・中学校	255 千円
・専門学校	30 千円

○一般寄付金（主なもの）

・株式会社エフ・ケイ・ケイ	5,000 千円
・福井鋳螺株式会社	3,000 千円
・株式会社 C&B	1,000 千円
・その他 PTA 寄付金、卒業寄付金	

3-5. 補助金の状況

【福井工業大学】

・令和7年度私立大学等経常費補助金	224,805 千円
・令和7年度授業料等減免費交付金	294,852 千円

【福井工業大学附属福井高等学校】

・令和7年度私立高等学校教育振興補助金	574,022 千円
・令和7年度私立高等学校等就学支援事業補助金	210,550 千円

【福井工業大学附属福井中学校】

・令和7年度私立中学校教育振興補助金	40,503 千円
--------------------	-----------

【福井県医療福祉専門学校・L'ecole des gourmands Fukui】

・令和7年度私立専修学校等教育振興補助金	7,304 千円
・令和7年度高等教育修学支援事業補助金	7,962 千円



3-6. 収益事業の状況

収益事業として、不動産賃貸業及び福井県立馬術競技場（福井ホースパーク）及び若狭町みさき漁村体験施設（みさきち）の指定管理を行っており、その状況は以下のとおりです。

【貸借対照表】

（単位：千円）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
流動資産	405,083	147,325	87,914	129,408	125,925
固定資産	802,078	772,394	742,711	716,691	687,730
資産合計	1,207,161	919,719	830,625	846,099	813,655
流動負債	17,610	12,631	11,562	12,977	22,900
固定負債	3,700	3,700	3,700	3,580	4,330
負債合計	21,310	16,331	15,262	16,557	27,230
純資産合計	1,185,851	1,185,851	815,363	829,542	786,424
負債・純資産合計	1,207,161	1,202,182	830,625	846,099	813,654

【損益計算書】

（単位：千円）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業収入	89,527	91,815	94,590	96,453	93,975
補助金収入	0	0	0	0	0
一般管理費	76,574	82,067	83,356	84,206	79,580
営業利益	12,953	9,748	11,234	12,247	14,395
営業外損益	1,721	7,791	1,357	1,932	2,487
経常利益	14,674	17,539	12,591	14,179	16,882
学校会計繰入金支出	0	0	100,000	0	60,000
当期純利益	14,674	17,539	△ 87,409	14,179	△ 43,118

3-7. 関連当事者との取引の状況

会社等の名称	資本金等	出資割合	取引の内容	摘要
株式会社 C&B	3,000千円	48%	不動産賃貸業務委託、人材派遣契約の締結	理事長が52%出資。委託費180百万円支払い。

4. 来年度以降の展望

第4次中期計画の2年目となる令和7年度は、新たな財務5ヵ年計画の達成に向けて厳格な予算編成を実施しました。令和8年度以降も教育・研究への影響を最小限におさえつつ、計画の達成に向けてメリハリのある予算計画・執行を行い、更なる教育環境の充実、学生・生徒に対し、より質の高いサービスの提供を実現するとともに、

収入の安定化や、支出の適正化による収支均衡を目指します。